

食品衛生法と海外における 容器包装の法規制動向及び輸出への対応

ホームページURL : <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260703>

◆日 時 : 2026年7月6日(月) 10:30~16:30

【アーカイブ配信:7/8~7/17】

◆受講料 : 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**
- ・LIVE、アーカイブ両方視聴される場合は1名につき55,000円、2名で66,000円です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※詳細はホームページでご確認下さい。

藤井包装技術事務所 所長 藤井 均 氏

<ご略歴>

- ～2014年6月 大日本印刷株式会社にて包装材料の開発、包装設計、法規対応に従事。
- ～2016年6月 容器包装に関わる業界団体に所属
- 2016年7月より藤井包装技術事務所を開設

【講座の趣旨】※詳細はホームページでご確認下さい。

ポジティブリスト制度は2020年6月1日施行され、施行後5年間の経過措置を経て2025年6月1日に完全施行となった。ポジティブリストにない物質は新規申請が必要となる。

器具・容器包装が食品衛生法適合するためには、①合成樹脂の器具・容器包装は、ポジティブリスト収載の原材料のみを使用②器具・容器包装の適正製造管理・一般衛生管理(GMP)遵守③合成樹脂の規格基準(告示)適合が必要である。ポジティブリストでの使用合成樹脂及び各樹脂の構成モノマーの確認は、新旧ポジティブリスト収載物質の対応により説明する。

欧州では、包装廃棄物規則の制定により、2030年以降は、食品用容器包装においても、リサイクル可能な包装設計基準、リサイクルプラスチックの使用義務が定められた。これにより、プラスチック材料・製品の市場投入の要件は、枠組み規則・適正製造基準・プラスチック規則の遵守、適合宣言書の発行及びリサイクルプラスチック包装設計、使用義務となった。2025年2月11日にプラスチック規則が改定され、リサイクルプラスチック使用条件、基準が定められた。

本講演では枠組み規則(一般原則、表示、トレーサビリティ)適正製造基準規則(食品と接触する材料や製品、リサイクルプラスチック製造)プラスチック規則(ポジティブリスト対象物質、リサイクルプラスチック、溶出量の規格・基準、多層材料の扱い等)、輸出のポイントを説明する。

米国では、食品接触材は「間接食品添加物」とみなされ、連邦規則(CFR)の第21条の規定に基づき管理されている。米国市場投入においては、連邦規則にない新規の食品接触物質はFDAに届出をする必要がある。規格・基準を定めた連邦規則集により、接着剤・コーティング剤、紙・板紙、プラスチックポリマーの個別規格、添加剤等の規格を説明する。FDA登録制度、FCN届出制度、及び安全性の判断基準、輸出へのポイントについて述べる。

日本、欧州、米国のポジティブリスト制度における、対象物質、GMP、情報伝達、新規物質申請制度の比較を行い、安全性に関する考え方の違いについて説明する。

【プログラム】※詳細はホームページでご確認下さい。

1. 日本における容器包装の法規制

- 1-1. 食品衛生法の改正
- 1-2. ポジティブリストの改正
- 1-3. 新ポジティブリスト(2025年6月1日施行)
- 1-4. 合成樹脂の規格基準
- 1-5. 食品衛生法の合成樹脂規格基準改正案
- 1-6. 既存物質の規格改正申請及び新規物質申請
- 1-7. 食品衛生法適合のポイント

2. 欧州における容器包装の法規制

- 2-1. EUにおける法規制
- 2-2. プラスチック規則ガイドライン
- 2-3. 新規物質の申請ガイドライン
- 2-4. 安全性評価
- 2-5. 輸出への対応
- 2-6. 印刷インキ、接着剤の規制(加盟国法規)

3. 米国における法規制と安全性試験・評価

- 3-1. 米国における法規制
- 3-2. FDAの認可申請制度
- 3-3. 新規物質申請制度(SCN制度)
- 3-4. 安全性評価
- 3-5. 輸出への対応

4. 日・米・欧の比較

- 4-1. ポジティブリスト制度・GMP・情報伝達等
- 4-2. 新規物質申請制度
- 4-3. 再生プラスチックの容器包装使用規制

【WEBセミナーとは?】

・本講座は「Zoom」を使ったWEBセミナーです。視聴方法は「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。

Zoom 接続テストの手順(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧の上、視聴可能かどうかご確認下さい。

・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。

・お申込み後は、弊社よりお申し込み内容確認メールをお送りします。

・LIVE配信を受講される方には、事前に資料をPDFでお送りします。Zoom視聴URLはメールでお送りします。開始時間の10分前にご参加下さい。

・アーカイブ配信を受講される方は、配信開始日までにセミナー資料と動画視聴URLをメールでお送りします。期間内は講師に質問も可能です。

『食品包装規制』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒☐LIVE ☐アーカイブ

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐ 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上(LIVEかアーカイブもご選択下さい)FAXして下さい。HPからもお申し込みできます。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



R & D
SUPPORT CENTER

株式会社R & D支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F

TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>